



11月度議員懇談会

障がい者就労支援事業所と連携した人手不足の解決策を学ぶ

11月度議員懇談会を11月1日午
前11時から福井商工会議所ビル地

下国際ホールにて開催した。

開会にあたり川田会頭は「世



界的に大きな影響を与えかねない経済リ
スクが4つあ
る。一つは、

『加熱し続け
るアメリカ経
済の歪さ』。

二つ目は『輸
入規制などト
ランプ大統領
のアメリカ
ファースト主
義』だ。『ア
メリカと中国
の貿易戦争』

や『アメリカ
・イラン間の
緊張によるオ
イルショック』も大き



実際に障がいのある人が働く姿を動画などで示し、企業での活用を勧める永田氏

なりリスクだ。これらがリーマン
ショック以来の世界的な経済危機
を引き起こす可能性が高まりつつ
ある」と挨拶した。

その後、社会福祉法人福井県セ
ルプの永田弘幸理事より、進歩す
る障がい者就労支援事業と企業と
の新たな業務連携をテーマに卓話
が行われた。永田氏は人手不足を
解消するための効果的な手段とし
て、障がい者就労支援施設の活用

を提案。介護施設や農業、企業な
どで障がいのある人に仕事をして
もらい人手不足の解決を図る取り
組みが紹介された。企業が実際に
障がい者就労支援施設を活用する
際のポイントとして、専門性が必
要な業務と単純作業を分けること
が重要と解説した。障がい者就労
支援施設と業務連携し、単純作業
を障がいのある人が受け持つこと
で専門性の必要な部分に人的資源
を集中できる。障がいのある人と
の業務連携の主な手法として「ア
ウトソーシング」「施設外就労」
「直接雇用」の3つを挙げ、職場
の環境などで使い分ける必要性も
訴えた。

永田氏は「私たちは障がいのある
人の出来る部分に目を向けて、
異なる能力を持った人として接し
ている。今後はこうした人々が活
躍する多様性を持った社会が必
要」と強調した。